

令和3年度決算について9月12日(月)に総務委員会で審査を行い、6会計すべてを全員賛成で認定しました。また、総務委員会からの意見や要望を執行部に伝えました。

令和3年度
一般会計の決算額

歳入(町に入ったお金) 40億7,048万円

歳出(町が使ったお金) 38億4,727万円

審査の結果

一般会計の決算収支では、歳入歳出の差引額は223,211千円となり、翌年度に繰り越す12,889千円を除き、実質収支額としては210,322千円の黒字であった。また、健全化判断比率及び資金収支比率についても健全化比率基準を下回っており、財政運営も健全であると認められる。今後も財政運営が低下しないよう努めていただきたい。

町税等の収納については、職員の努力により高い収納率となっている。滞納整理は大変困難で、かつ地味な職務ではあるが、財源の確保、税負担の公平性の原則から、引き続き努力をお願いしたい。全審査項目とも予算は適切に執行されていると認められた。しかし、改善する余地もあり、次のような意見・要望があった。

審査にあたっての意見・要望等

● 企画課

- ・決算における交付税、補助金、地方債などについて、財政分析をして報告されたが、交付税参入率の情報などで不足を感じる箇所も見受けられたことから、分析の精度を高め、次年度以降の予算編成や中長期的な財政運営に反映できるよう努力されたい。
- ・財務4表の結果については、現在は公共施設管理計画に反映できておらず、予算に対しても最低限の活用に留まっているとのことだった。公共施設の老朽化が進む中、ライフサイクルコストを意識して、公共施設管理計画及び財政計画に反映できるよう改善されたい。
- ・財政調整基金の積立てについては、町長の目標である10億円を超えて積み戻すことができた。超過分については、投資的経費に充てるなどして町民に還元されたい。

● 福祉課

- ・デマンドタクシーについて、以前に坂祝町社会福祉協議会が「外出支援事業」を実施していたが、これまであったサービスの良いところを踏襲しつつ、より利用者のニーズにきめ細かく対応できるしくみを構築されることを期待する。

● 教育課

- ・小中学校の建替えについて、令和2年9月一般質問にて町長から「10年を目途に結論を出していきたい。」と回答をいただいております。令和3年度には教育課が北方町の義務教育学校の視察を行ったとのことだが、小中一貫校のメリットなどを含めた「小中学校のあり方」について調査・研究を進められ、整備計画や建設までのスケジュールを早期に策定されることを望む。
- ・給食費については、県内産・地元食材を使用した給食の提供を今後も続けていただきたい。ただし、給食費の負担軽減については、諮問機関から「現状維持」の答申が報告されているが、検討した経緯を含め疑問が生じた。精査されたい。